

DB2[®] データウェアハウス・マネージャー



情報カタログ・マネージャー 使用者の手引き

バージョン 7

DB2[®] データウェアハウス・マネージャー



情報カタログ・マネージャー 使用者の手引き

バージョン 7

ご注意!

本書、および本書がサポートする製品をご使用になる前に、37ページの『付録B. 特記事項』にある一般的な情報を必ずお読みください。

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミング、またはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミング、またはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原典： SC26-9996-00
IBM[®] DB2[®] Warehouse Manager
Information Catalog Manager User's Guide
Version 7

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1994, 2000. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2000

目次

本書について	v	第4章 情報カタログ内の情報の収集方法	21
本書の対象読者	v	集合の作成方法	21
本書の使い方	v	集合にオブジェクトを配置する方法	21
サンプル・シナリオについて	vi		
第1章 情報カタログ・マネージャーの紹介	1	第5章 情報カタログ・マネージャー ユーザー	
情報カタログ・マネージャーでの作業	2	の追加タスク	25
オブジェクトおよびオブジェクト・タイプ	3	オブジェクトの管理	25
		情報カタログ・マネージャー・セッションの	
第2章 情報カタログ・マネージャーでの作業の		カスタマイズ方法	25
開始	5	マウスまたはキーボードのデフォルト・ア	
サーバー・ノードおよびリモート情報カタログ		クションの変更方法	26
の登録方法	5	情報カタログ・マネージャー・プロパティ	
サーバー・ノードの登録	6	一値の隠し方法	27
リモート情報カタログの登録	6	検索ワイルドカードの変更	27
情報カタログのオープン	8		
「情報カタログ (Information Catalog)」ウイ		付録A. サンプル情報カタログのオブジェク	
ンドウの使用	9	ト・タイプ	29
第3章 情報の探し方	11	付録B. 特記事項	37
サブジェクトのブラウズ方法	11	商標	40
プログラムの開始方法	13		
起動したアプリケーションの実行時の注意	15	付録C. IBM と連絡をとる	43
関連オブジェクトの検索方法	16	製品情報	43
情報カタログの検索方法	16		
検索定義の保管方法	18	用語集	45
情報所有者の検索方法	19		
検索した情報の印刷方法	20	索引	47

本書について

本書では、情報カタログ内のメタデータを素早く見つけて使用するために情報カタログ・マネージャーで実行するタスクについて説明します。

本書の対象読者

本書は、自分の組織に関する業務情報を入手するために、情報カタログのブラウザまたは検索を行うエンド・ユーザーを対象にしています。

本書の使い方

本書では、CelDial Corporation という架空の企業に関するサンプル・シナリオを用いて、情報カタログ・マネージャーの使用方法を学習できるようになっています。(用意したシナリオでは、CelDial Corporation に勤務するユーザーが情報カタログを使用して、必要な情報をどのように検索するかについて説明されています。)

ICMSAMP 情報カタログ、および本書のサンプル情報を用い、情報カタログ・マネージャーで実際に体験を積み重ねてから、ユーザー自身の会社情報にアクセスしてください。

本書のシナリオは連続しています。したがって、タスクの中には、以前のタスクで学習した知識を必要とするものもあります。シナリオのタスクは 11 ページの『第3章 情報の探し方』から始まります。

重要:

- 本書のシナリオでは、情報カタログ・マネージャーのデフォルト設定が変更されていないことが前提となっています。
- シナリオ・タスクが終了しても、指示のない限り、どの情報カタログ・マネージャーウィンドウもクローズしないでください。これは、本書の以降のタスクで、これらのウィンドウが必要になることがあるからです。

本書のシナリオでは、Lotus 1-2-3[®] のスプレッドシートを表示する際に、起動するプログラムを選択することができます。Lotus 1-2-3 がワークステーションに導入されていれば、Lotus 1-2-3 を立ち上げることができますし、ペイントまたはペイントを使用し、同じスプレッドシートのスクリーン・キャプチャーを表示することもできます。

本書で説明されているトピックは以下のとおりです。

- 1ページの『第1章 情報カタログ・マネージャーの紹介』では、情報カタログ・マネージャーについて概説します。
- 5ページの『第2章 情報カタログ・マネージャーでの作業の開始』では、情報カタログ・マネージャーを最初に使いはじめるときに行わなければならないタスクについて説明しています。
- 11ページの『第3章 情報の探し方』では、サブジェクトのブラウズ、オブジェクトからのプログラムの開始、オブジェクトの検索、連絡先の検索、および情報の印刷を行う方法について示しています。
- 21ページの『第4章 情報カタログ内の情報の収集方法』は、さまざまなオブジェクトをグループ化する集合を作成する場合に役立ちます。
- 25ページの『第5章 情報カタログ・マネージャー ユーザーの追加タスク』では、情報カタログ・マネージャー・ユーザーが行うことのできる追加タスクについて説明しています。
- 29ページの『付録A. サンプル情報カタログのオブジェクト・タイプ』では、本書のシナリオで使用される ICMSAMP 情報カタログの内容をリストしています。

サンプル・シナリオについて

CelDial Corporation は、携帯電話を製造する堅実なメーカーであり、セルラー・ネットワークを提供するためのビジネスを拡張しようと計画しています。そのために CelDial Corporation は、情報カタログ・マネージャーを使用して、自社情報ネットワークの内容を常に最新の状態にしています。

市場調査分析の結果、CelDial が販売する携帯電話およびその周辺の通信技術の市場需要が増加していることが判明しました。CelDial の新しい営業担当員としてのあなたの任務は、結果を収集して 2000 年度のキャンペーンの焦点を判断し、'01 年度のキャンペーンを成功させるための計画を立てることです。

あなたは CelDial の営業会議からちょうど帰ってきたところです。今回の会議では、2000 年度末の結果が報告されました。2000 年度の初めから非常に盛大な販売キャンペーンを開始したこともあり、この結果には、大幅な売上増を見ることができました。しかし、キャンペーンが開始された 2000 年度当初の最初の売上高がどの程度であったのかを知る必要があります。そうしないと、この値を最新の結果と比較することができないからです。2000 年度の販売キャンペーンについては、他にも覚えておかなければならないことがあります。というのは、今度の 2001 年度のキャンペーンの計画を立てる際、2000 年度のキャンペーンの情報は、適切な判断を行うのに役立つからです。

どこから始めましょうか。次の事柄を行う必要があります。

- 2000 年度のキャンペーンの結果生じた売上高の検討。第 1 四半期と第 4 四半期を比較する必要があるかもしれません。これは、キャンペーンが年度の初めに開始されたからです。
- 新規キャンペーンに関する関連広告費の検討。
- 検索した情報をまとめ、グループ化する。これは、情報を再検討しなければならない場合に、情報へのアクセスを簡単にするためです。
- 2000 年度のキャンペーンに変更を加える必要があるかどうかの判別。

あなたのグループは、会社情報の検索およびアクセスを支援するためのツールである情報カタログ・マネージャーを導入しました。

第1章 情報カタログ・マネージャーの紹介

情報カタログ・マネージャーは、ビジネス情報の検索およびアクセスを、素早くかつ簡単に行うことをお手伝いするツールです。情報カタログ・マネージャーがユーザーの組織で果たすことは、電子カード・カタログが図書館で果たす役割と同じであり、それ以上の仕事もこなします。

今日のビジネス環境においては、重要な会社情報にアクセスすることが必要になっています。関連情報の収集には、多くの時間を必要とし、また骨の折れるプロセスが伴います。また、さまざまな場所でデータを探し求め、複数の部門や個人に関連情報を問い合わせなければなりません。情報カタログ・マネージャーは、単一の情報カタログおよび堅固な検索機能を提供することにより、ビジネス情報の検索を能率化します。

ユーザーの会社の情報はさまざまな場所に保管されます。チャート、グラフ、ディスプレイ、およびその他の情報は意思決定支援システムに、顧客名、番号およびその他のデータのスプレッドシートやテーブルはアカウント・システムに、テキスト文書および図形ファイルはオフィス・システムにそれぞれ保管されます。これらの情報は、大型メインフレーム・システム、ネットワーク・サーバー、ユーザーのワークステーション上に置くことができますが、印刷された文書の形にしてファイリング・キャビネットに収めることもできます。これらの情報の一部またはすべてをカタログ化することができます。情報カタログに格納される情報の範囲は、ユーザーの会社内で共用できる、または共有すべき情報の内容によって異なります。

情報カタログ・マネージャーは、ソース情報についての記述データを保管します。この記述データに含まれるものは、情報のタイプ、情報の説明、情報の内容、情報の所有者と更新者、情報の場所とその取得方法についてです。

必要な情報を見つけたら、情報カタログ・マネージャーから、スプレッドシート・プログラム、ワード・プロセッサ、グラフィックス・ツールなどの情報アプリケーションを開始します。ソース情報に関連するアプリケーションで検索情報を処理している間、情報カタログ・マネージャーはバックグラウンドで動作しています。

情報カタログ・マネージャーのユーザー・インターフェースを使用するには、
図 1 の「情報カタログ (情報カタログ)」ウィンドウから開始します。

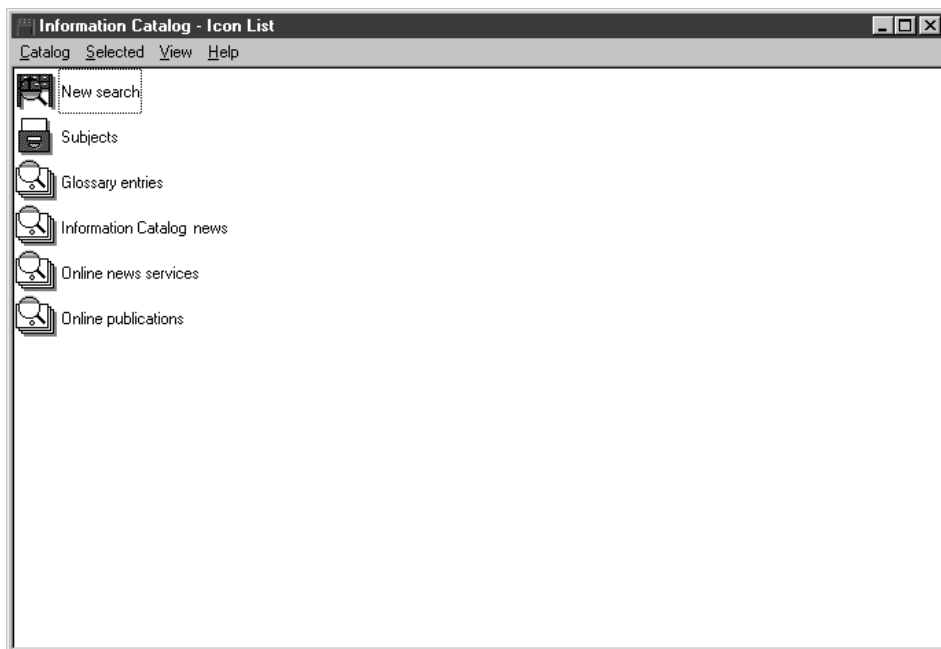


図 1. 「情報カタログ (情報カタログ)」ウィンドウ

情報カタログ・マネージャーでの作業

どの情報システムについても、システムと対話するユーザーは、2 つに分けられます。システム内の情報を保守する責任を持つユーザー、そして、そのシステムのユーザーです。地方図書館の司書は、カタログ・システムを編成し、管理します。また、図書館の蔵書に関する情報も整備します。カード・カタログ・システムにアクセスすれば、利用者は、どの本が利用できて、それがどこに置いてあるのかを知ることができます。司書は、利用者がより便利に図書館を使うことができるように、舞台裏でシステムを管理しています。

情報カタログ・マネージャーを使用する場合、管理者の役割は司書の役割と似ています。管理者は、会社情報に関する記述データの編成および保守を行います。また、ユーザーのニーズを把握することも必要です。管理者がユーザーになることもしばしばあります。情報カタログ管理者の何人かは、ユーザーと密

接に作業します。それ以外の情報カタログ管理者、および情報システム人員は、情報カタログにどのような情報があり、また、どのような情報を取り込むべきかについて、評価、識別します。

ユーザーになれば、これまで以上に素早く、かつ簡単に情報を検索できるようになります。これは、管理者がユーザーのグループの特定のニーズに合うように情報を編成するからです。この作業は舞台裏で行われ、ユーザーは、必要なときに必要な情報を入手することができます。

管理者から許可を得れば、情報カタログのユーザーは、通常、情報カタログの管理者が行う追加の管理タスクを実行できます。それらのタスクについては、25ページの『第5章 情報カタログ・マネージャー ユーザーの追加タスク』で説明されています。

オブジェクトおよびオブジェクト・タイプ

情報カタログ内の記述データは、ユーザーの会社で使用する業務区分および業務用語を反映する、オブジェクト・タイプおよびオブジェクトに編成されます。

たとえば、サンプル情報カタログの ICMSAMP には、“イメージまたはグラフィックス (Images or graphics)” というオブジェクト・タイプが含まれています。これには、CelDial 社が使用するデジタル・ビットマップ・イメージのオブジェクトのセットが記述されています。“イメージまたはグラフィックス (Images or graphics)” オブジェクト・タイプに定義されるプロパティは、詳細記述、イメージ・クラスまたはタイプ、そしてイメージ・ファイル名です。イメージまたはグラフィックス (Images or graphics) オブジェクトの 1 つに、**第 1 四半期に使用された印刷広告イメージ (Image used for first quarter printed advertisements)** というものがあります。これは、1999 年度の第 1 四半期に掲載する雑誌広告で使用する、ビットマップ・フォトグラフを描きます。

複数のオブジェクトを集めてグループ化し、より大きなオブジェクトに含めることができます。他のオブジェクトを含んでいるオブジェクトのことを、グループ・オブジェクトと呼びます。他のオブジェクトを含んでいるが、それ自身は他のオブジェクトに含まれていないグループ・オブジェクトは、情報カタログの「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウに表示されます。これらのグループ・オブジェクトを表示するには、「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウ内のサブジェクト・アイコンをダブルクリックします。

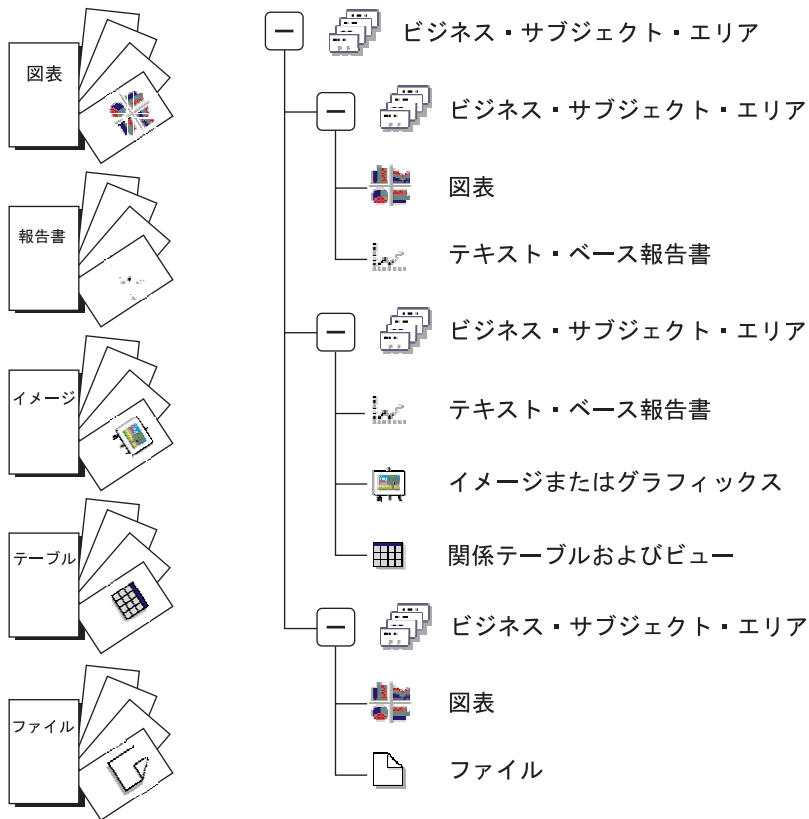


図2. 「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウに表示されている、オブジェクト内にグループ化されているオブジェクトの例。

ICMSAMP 情報カタログには、そのようなグループ・オブジェクトの 1 つとして、 **CelDial 売上情報** というものが含まれています。ここには、CelDial 製品の売上を扱う他のオブジェクトが含まれています。

第2章 情報カタログ・マネージャーでの作業の開始

この章では、情報カタログ・マネージャーを最初に使いはじめるときに行うタスクについて説明します。

サーバー・ノードおよびリモート情報カタログの登録方法

情報カタログは、ローカル (自分のワークステーションに保管する) またはリモートのどちらでも使用できます。情報カタログをリモートで使用する場合、ユーザーまたはリモート・データベース管理者は、以下のタスクを完了しなければなりません。

1. サーバー・ノードおよび情報カタログの登録準備。
2. サーバー・ノードの登録。
3. リモート情報カタログの登録。

ステップ 1 および 2 は、情報カタログ・マネージャーのウィンドウの外で行うことができます。情報カタログ管理者またはリモート・データベース管理者は、DB2 コントロール・センターのウィンドウを使用して、以下のタスクを行うことができます。

- システムの追加
- インスタンスの追加
- データベースの追加

DB2 コントロール・センターでこれらのステップを完了したら、DB2 コントロール・センターをシャットダウンした後で、情報カタログ・マネージャーをオープンします。詳細については、DB2 コントロール・センターのオンライン・ヘルプを参照してください。

DB2 コントロール・センターで上記のタスクを完了したら、情報カタログ・マネージャーの「新規情報カタログの登録 (Register New Information Catalog)」ウィンドウを使用して、登録プロセスを完了することができます。以下の情報を、情報カタログ・マネージャー管理者から受け取っておく必要があります。

- 情報カタログ・データベースが置かれているサーバーの名前。
- 情報カタログ名。
- 情報カタログへのアクセスに使用するユーザー ID およびパスワード。

サーバー・ノードの登録

リモート情報カタログが置かれているサーバー上のデータベースにすでに接続している場合、このステップはスキップして、『リモート情報カタログの登録』に進むことができます。

1. 「スタート」 → 「プログラム」 → 「IBM DB2」 → 「情報カタログ・マネージャー (情報カタログ・マネージャー)」 をクリックする。
2. 「サーバー・ノードと情報カタログの登録 (Register Server Node and Information Catalog)」 アイコンをダブルクリックする。
「サーバー・ノードと情報カタログの登録 (Register Server Node and Information Catalog)」 ウィンドウがオープンします。
3. 「新規サーバー・ノードの登録 (Register new server node)」 をクリックする。
4. 「OK」 をクリックする。
「新規サーバー・ノードの登録 (Register New Server Node)」 ウィンドウがオープンします。
5. ユーザーの環境に適合するコマンド・ファイルを選択する。適当なファイルは情報カタログ・マネージャー管理者から受け取ることができます。「コマンド・ファイルの内容 (Contents of the command file)」 フィールドに、情報カタログ・マネージャーとユーザーの情報カタログが保管されているリモート・データベースとの間の接続を確立する、プロトコルおよびデータベース・コマンドが表示されます。
6. 「登録 (Register)」 をクリックする。
7. 「サーバー・ノードと情報カタログの登録 (Register Server Node and Information Catalog)」 ウィンドウはオープンしたままである。情報カタログに他のサーバー・ノードを登録するか、「取り消し (Cancel)」 をクリックして、ウィンドウをクローズしてください。

リモート情報カタログの登録

リモート情報カタログを登録するには、以下のようにします。

1. 「スタート」 → 「プログラム」 → 「IBM DB2」 → 「情報カタログ・マネージャー (情報カタログ・マネージャー)」 をクリックする。
2. 「サーバー・ノードと情報カタログの登録 (Register Server Node and Information Catalog)」 アイコンをダブルクリックする。
「サーバー・ノードと情報カタログの登録 (Register Server Node and Information Catalog)」 ウィンドウがオープンします。

3. 「新規情報カタログの登録 (Register new information catalog)」をクリックする。
4. 「OK」をクリックする。
「新規情報カタログの登録」ウィンドウがオープンします。
5. 「情報カタログ名 (Information catalog name)」フィールドに、リモート・カタログがユーザーのローカル・ワークステーション上で持つ名前を入力する。
6. 「サーバー情報カタログ名 (Server information catalog name)」フィールドに、情報カタログがリモート・サーバー上で持つ名前を入力する。
7. 「サーバー・ノード ID (Server node ID)」リストから、リモート情報カタログが置かれるサーバー・ノードまたは DB2 コネクト・ゲートウェイ・ワークステーションを選択する。
8. 「登録 (Register)」をクリックする。
「情報カタログに接続 (Connect to Information Catalog)」ウィンドウがオープンします。
9. 「ユーザー ID (User ID)」フィールドに、以下のユーザー ID (ユーザーの情報カタログを保管するデータベースによって要求されるもの) を入力する。

DB2 UDB (OS/2 版) (リモート)

LAN ユーザー ID (UPM を使用して、リモート・ワークステーション上で指定されます)

DB2 UDB (OS/390 版)

RACF ユーザー ID

DB2 UDB (AS/400 版)

AS/400[®] ユーザー ID

DB2 UDB (AIX 版)

AIX ユーザー ID

DB2 ユニバーサル・データベース エンタープライズ拡張エディション

AIX[®]、Sun、または Windows NT[®] ユーザー ID (プラットフォームによって異なります)

DB2 UDB (Windows NT 版)

Windows NT ユーザー ID

DB2 UDB (Windows 95 版)

Windows 95 ユーザー ID

DB2 UDB (Windows 98 版)

Windows 98 ユーザー ID

DB2 UDB (Windows 2000 版)

Windows 2000 ユーザー ID

DB2 UDB (Solaris 版)

Sun Solaris ユーザー ID

10. 「パスワード (Password)」フィールドにパスワードを入力する (ただし、「ユーザー ID (User ID)」フィールドへ入力したユーザー ID に対応するパスワード)。

以下のプラットフォームでは、データベースへのアクセスに使用するパスワードに大文字小文字の区別があります。

- AIX
- Windows
- Sun Solaris

11. 「接続 (Connect)」をクリックする。

新規のカタログが定義され、情報カタログ・マネージャーのプログラム・アイコンが「スタート」メニューに作成されます。

12. 「サーバー・ノードと情報カタログの登録 (Register Server Node and Information Catalog)」ウィンドウはオープンしたままである。情報カタログに他のサーバー・ノードを登録するか、「取り消し (Cancel)」をクリックして、ウィンドウをクローズしてください。

情報カタログのオープン

情報カタログをオープンするには、次のようにします。

1. 「スタート」→「プログラム」→「IBM DB2」→「情報カタログ (Information Catalog)」をクリックする。
2. オープンする情報カタログを示すアイコンを、ダブルクリック、または選択する。
「情報カタログのオープン (Open Information Catalog)」ウィンドウがオープンします。
3. 「ユーザー ID (User ID)」フィールドに、ユーザー ID (ユーザーの情報カタログが置かれているオペレーティング・システムによって要求されるもの)を入力する。

4. 「パスワード (Password)」フィールドにパスワードを入力する (ただし、「ユーザー ID (User ID)」フィールドへ入力したユーザー ID に対応するパスワード)。
以下のプラットフォームでは、データベースへのアクセスに使用するパスワードに大文字小文字の区別があります。
 - AIX
 - Windows
 - Sun
5. 「オープン (Open)」をクリックする。「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウがオープンします。

「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウの使用

ユーザー自身が使うための固有なオブジェクトのセットを用いて「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウをカスタマイズするには、検索を保管し、集合を作成します。これについては、あとで説明します。以下のリストは、「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウ内のアイコンを示しています。



新規検索 (New search)

オブジェクト・タイプおよびプロパティ値を検索基準としてオブジェクトを検索する場合にクリックします。



サブジェクト (Subjects)

関連するグループまたはサブジェクト別に編成されたオブジェクトをブラウズする場合にクリックします。ブラウズをしやすいように、オブジェクトは階層的に編成されています。



用語集見出し (Glossary entries)

ユーザーのワーク・グループで使用する標準的な業務用語へのクイック・リファレンスとしてクリックします。



情報カタログ・ニュース (Information Catalog news)

ユーザーの情報カタログまたはワーク・グループに関する状況情報を保持する場合にクリックします。情報カタログ管理者が、このオブジェクトを更新します。



「オンライン・ニュース・サービス (Online news services)」

会社独自のシステムまたはインターネット上のオンライン・ニュース・ソースへのリンクを保持する場合にクリックします。情報カタログ管理者が、このオブジェクトを更新します。



オンライン資料 (Online publications)

会社独自のシステムまたはインターネット上のオンライン資料へのリンクを保持する場合にクリックします。情報カタログ管理者が、このオブジェクトを更新します。

第3章 情報の探し方

vページの『本書について』では、ユーザーが CelDial Corporation の広告キャンペーン・マネージャーになって行うシナリオについて紹介しました。ユーザーは、前回のキャンペーンをベースにした、販売キャンペーンを計画するためのキー情報が必要です。ここで、情報カタログを使用して実行しなければならないタスクを示します。

- 第 1 四半期および第 4 四半期の売上高の検討。
- 新規キャンペーンに関係する広告費の検討。
- 必要なすべての情報のグループ化 (アクセスを簡単にするため)。
- キャンペーンに変更を加える必要があるかどうかの判別。

ここでは、以下のタスクを行う方法を学習します。

- 情報カタログ内のサブジェクトをブラウズする。
- オブジェクトからプログラムを開始する。
- 情報カタログ内の関連するオブジェクトを検索する。
- オブジェクトの担当者の名前を調べる。
- オブジェクトに関する情報を印刷する。

サブジェクトのブラウズ方法

最新の売上高を調べる目的で、CelDial キャンペーン情報の検索を開始します。

重要: このタスクおよびこのあとのタスクで各種オブジェクトを見付けたときは、指示のない限り、どのウィンドウもクローズしないでください。見付けたオブジェクトが以降のタスクで必要になることがあります。

2000 年度の最新の売上高を調べるには、以下のようにします。

1. ウィンドウ内の「**サブジェクト (Subjects)**」アイコンをダブルクリックする。

「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウがオープンして、情報カタログ内のオブジェクトのリストが表示されます。これらのオブジェクトは他のオブジェクトを含んでいますが、自分自身は、他のオブジェクトに含まれていません。

ん。「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウは、デフォルトでは、アイコン・ビューの形式でオープンしますが、リスト・ビューとしてもオープンすることができます。

オープンしたオブジェクトのグループには、CelDial Corporation に関連する情報が示されています。オブジェクトに含まれている情報を表示するには、オブジェクトをダブルクリックするか、オブジェクトのポップアップ・メニューから「オープン形式 (Open as)」→「ツリー (Tree)」をクリックします。オブジェクト上で右クリックすれば、オブジェクトのポップアップ・メニューにアクセスできます。

2. 「CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)」をダブルクリックする。このオブジェクトのツリー・ビューが表示されます。
ツリー・ビューには、「CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)」グループに属しているオブジェクトの関連が示されます。ツリー・ビュー内のオブジェクトの隣には正符号 (+) が示されていますが、これは、ツリー・ビュー内のすべてのオブジェクトが、他のオブジェクトを含むグループ・オブジェクトであることを示しています。
3. 「CelDial 売上スプレッドシート (CelDial Sales Spreadsheets)」というオブジェクトの隣の + 符号をクリックする。ツリー・ビューが拡張され、このグループの次のレベルのオブジェクトが表示されます。その中に、「CelDial 2000 年度第 1 四半期売上 (CelDial Sales for 1st quarter 2000)」、および「CelDial 2000 年度第 4 四半期売上 (CelDial Sales for 4th quarter 2000)」というオブジェクトが含まれています。
4. 「CelDial 2000 年度第 1 四半期売上 (CelDial Sales for 1st quarter 2000)」をダブルクリックし、オブジェクト記述を表示する。
「記述ビュー (Description View)」ウィンドウがオープンします。「記述ビュー (Description View)」の「オブジェクト・タイプ (Object type)」フィールドには、「CelDial 2000 年度第 1 四半期売上 (CelDial Sales for 1st quarter 2000)」がスプレッドシート・オブジェクトであるということが示されています。
5. 「プロパティ (Properties)」リストから「アクション (Actions)」プロパティを選択する。値は、次のようになっています。

Click on 'Start Program...' and choose 'Spreadsheet Viewer Using Lotus 1-2-3'

「アクション (Actions)」プロパティは、売上情報を見るためのプログラムが起動できることを示しています。この場合、起動するプログラムは、Lotus 1-2-3 となります。

Lotus 1-2-3 を導入していない場合: グラフィックス・プログラムを選択し、サンプル情報カタログに含まれている、類似のアプリケーション・パネルを表示します。

プログラムの起動方法については、『プログラムの開始方法』を参照してください。

プログラムの開始方法

「**CelDial 2000 年度第 1 四半期売上 (CelDial Sales for 1st quarter 2000)**」オブジェクトが売上データを示すスプレッドシートであることが分かりましたが、こうなると、第 1 四半期の実際の売上データを表示させたいかもしれません。そのためには、以下のことを行います（「記述ビュー (Description View)」内の「**CelDial 2000 年度第 1 四半期売上 (CelDial Sales for 1st quarter 2000)**」オブジェクトはまだオープンしておかなければなりません。）

1. 「記述ビュー (Description View)」ウィンドウ内の「**プログラムの開始 (Start Program)**」をクリックする。

「プログラムの開始 (Start Program)」ウィンドウがオープンします。「プログラムの開始 (Start Program)」ウィンドウでは、Lotus 1-2-3 を開始して実際のスプレッドシートを表示したり、ペイント (Microsoft® Windows® に付属しているグラフィカル・ブラウザ) を起動してシミュレートされたスプレッドシート (ビットマップ形式) を表示することができます。

2. 次のいずれかを選択する (Lotus 1-2-3 またはペイントのどちらを使用するかによって決まります)。

View spreadsheet <screen capture> using MSPaint for Windows 95

View spreadsheet <screen capture> using Paintbrush

for Windows NT

View spreadsheet using Lotus 123 for Windows 95

View spreadsheet using Lotus 123 for Windows NT

3. 「**開始 (Start)**」をクリックする。

選択したプログラムが開始され、「**CelDial 2000 年度第 1 四半期売上 (CelDial Sales for 1st quarter 2000)**」オブジェクトとして示されているスプレッドシートをオープンします。

スプレッドシートには、第 1 四半期の初めから売上が着実に伸びている様子が示されます。

売上情報の検討が終了したら、スプレッドシートを表示しているアプリケーションをクローズします。スプレッドシートを表示しているオブジェクトが有用であることが分かれば、集合の中に保管することができます。保管の方法については、あとで練習します。

2000 年度の第 4 四半期の売上高が第 1 四半期と比べて大きく改善されているかどうかを判別するために、第 4 四半期の売上高を素早く調べる必要が出てきました。Lotus 1-2-3 を起動して、「**CelDial 2000 年度第 4 四半期売上 (CelDial Sales for 4th quarter 2000)**」と類似のスプレッドシートを表示する別の方法を以下に示します。

1. 「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」 ツリー・ビューに表示される「**CelDial 2000 年度第 4 四半期売上 (CelDial Sales for 4th quarter 2000)**」オブジェクトを右クリックする。このオブジェクトのポップアップ・メニューが表示されます。
2. 「**プログラムの開始 (Start Program)**」をクリックする。「プログラムの開始 (Start Program)」ウィンドウがオープンします。
3. 「**開始する 1 つまたは複数のプログラムの選択 (Select one or more programs to start)**」リストから、Lotus 1-2-3 またはグラフィックス・プログラムを選択する。
4. 「**開始 (Start)**」をクリックする。

Lotus 1-2-3 またはペイントが開始され、「**CelDial 2000 年度第 4 四半期売上 (CelDial Sales for 4th quarter 2000)**」オブジェクトが示すスプレッドシートをオープンします。

第 4 四半期では売上が伸び続け、第 1 四半期のスプレッドシートに示されているよりもはるかに大きな売上高になっていることにお気づきでしょう。第 1 四半期に開始されたキャンペーンは、成功していることが分かります。

売上情報の検討が終了したら、スプレッドシートを表示しているアプリケーションをクローズします。

2000 年度の広告キャンペーンは成功していることが分かりました。これと同じ戦略を 2001 年のキャンペーンにも適用してみてもいいでしょうか。計画の役に立つ関連情報が、他にないかどうかを確認することも重要です。

情報カタログの各オブジェクトは、一緒にグループ化しなくとも、お互いを関連付けることができます。この関係を、リンク関係と呼びます。戦略を立てるのに役立つ、「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」に関連する情報を含むオブジェクトがあるかもしれません。

16ページの『関連オブジェクトの検索方法』は、2001年のマーケティング戦略を立てる上で役立ちます。

起動したアプリケーションの実行時の注意

開始したアプリケーションで作業している間も、情報カタログ・マネージャーは動作しています。(開始したアプリケーションは、ユーザーのワークステーションからアクセスできなければなりません。また、このアプリケーションは、情報カタログ・マネージャー管理者により適切に設定されていなければなりません。)

情報カタログを参照、または情報カタログで作業するために、開始したプログラムをクローズする必要はありません。アプリケーションを実行しながら情報カタログ・マネージャーで作業するには、アクティブ・ウィンドウ・リストを表示するか (Ctrl+Esc)、タスクバーを表示して (Windows を使用している場合)、そこにリストされる情報カタログ・マネージャー・ウィンドウの中から必要な項目を選択します。あるいは、プログラム・ウィンドウを最小化しても構いません。アプリケーションをクローズしても、情報カタログ・マネージャーは、デスクトップ上でオープンしています。

ソース情報を処理し、変更した情報を保管する場合は、ユーザーのワークステーションのドライブ、またはプライベート LAN ドライブだけに保管することができます。

変更したバージョンのオブジェクトをグループ内の他のメンバーのために情報カタログに含めるには、情報カタログ・マネージャー管理者は記述の詳細とオブジェクトを更新する必要があります。

情報カタログ内のオブジェクトの使用計画を立てるには、情報カタログ・マネージャー管理者とともに作業します。コメントを付けて、情報カタログ・マネージャー管理者と情報を交換することができます。これにより、記述データの更新や新規オブジェクトの作成などを依頼することができます。

情報カタログ・マネージャー管理者はユーザーに、情報カタログ内のオブジェクトを更新する権限を付与することができます。詳しい情報については、25ページの『第5章 情報カタログ・マネージャー ユーザーの追加タスク』を参照してください。

関連オブジェクトの検索方法

2001 年度のマーケティング戦略を立てるには、「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」に関連する可能性のある、他のリンク情報を検索することが役に立つでしょう。検索したオブジェクトを表示するときは、ツリー・ビューにしてください。

1. ツリー・ビューに表示された「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」オブジェクトを右クリックする。オブジェクトのポップアップ・メニューが現れます。
2. 「**リンク先 (Linked with)**」をクリックする。「**リンク先 (Linked with)**」ウィンドウがオープンします。このウィンドウには、「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」オブジェクトに関連する他のオブジェクトが表示されます。

この場合の「**リンク先 (Linked with)**」ウィンドウには、2000 年度のキャンペーンに使用された広告のタイプに関連するオブジェクトが表示されます。これらのオブジェクトが示すデータは、売上データに影響を与えるデータです。ただし、売上データではなく広告のデータを表しているため、これらが一緒にグループ化されることはありません。

キャンペーンではどの広告メディアにより力が入れたか、ということについて知りたい場合があります。このためには、2000 年度に広告費がどのように使われたのかを知ることが得策です。広告費の情報を検索することは、2001 年度の広告予算の使い分けを決定するときの役に立つでしょう。

情報カタログの検索方法については、『**情報カタログの検索方法**』を参照してください。

情報カタログの検索方法

2000 年度の広告費に関する情報を検索するには、以下のようになります。

1. 「**情報カタログ (Information Catalog)**」ウィンドウ内の「**新規検索 (New search)**」アイコンをダブルクリックする。「**検索の定義 (Define Search)**」ウィンドウがオープンします。
2. 「**使用可能なオブジェクト・タイプ (Available object types)**」リストをスクロールし、情報カタログ内のオブジェクト・タイプを判別する。どのオブジェクトに広告費の情報が入っているのかは分からないので、カタログ内の利用できるオブジェクト・タイプをすべて検索してください。

3. 「>>」をクリックする。利用できるオブジェクト・タイプがすべて選択され、「オブジェクト・タイプの検索 (Search for object types)」リストに追加されます。

「名前 (Name)」プロパティーも、「プロパティー / 値 (Properties/Values)」リスト・ボックスの「プロパティー (Property)」欄に表示されます。

4. 検索条件を絞るために、「選択済みプロパティーの値を入力 (Enter value for selected property)」フィールドに「費用 (expenses)」を入力して、「名前 (Name)」プロパティーの値を指定する。
5. 「入力 (Enter)」をクリックして、「値 (Value)」欄に「費用 (expenses)」を移動する。
6. 「大小文字の無視 (Ignore case)」チェック・ボックスを選択して、その値がある箇所を、大文字小文字の区別なく検索します。
7. 「任意位置 (anywhere in)」をクリックして、「費用 (expenses)」というテキストが含まれている値をすべて検索します (「費用 (expenses)」は、値の中のどの位置にあっても検索されます)。
8. 「検索 (Search)」をクリックする。情報カタログ・マネージャーは、指定された検索基準を満たすオブジェクトを探します。検索が完了すると、探し出された項目が「検索結果 (Search Results)」ウィンドウに表示されます。

探し出した費用のオブジェクトの一つに、「**CelDial 2000 年度広告宣伝費 (CelDial Advertisement Expenses for 2000)**」というものがあります。このオブジェクトの詳細を知るには、以下のようにします。

1. オブジェクトをダブルクリックする。このオブジェクトの記述ビューがオープンします。
2. 「プロパティー (Property)」リストをスクロールする。このオブジェクトの詳細が表示されます。
3. 「詳細記述 (Long description)」を選択する。「選択済みプロパティーの値 (Value of selected property)」フィールドの説明により、これは、ラジオ、テレビ、新聞、そして雑誌広告の各広告費を示す Lotus 1-2-3 のスプレッドシートであることが分かります。
4. 「プログラムの開始 (Start Program)」をクリックする。「プログラムの開始 (Start Program)」ウィンドウがオープンします。
5. 以下のいずれかを選択します。

View spreadsheet <screen capture> using MSPaint for Windows 95
View spreadsheet <screen capture> using Paintbrush
for Windows NT

View spreadsheet using Lotus 123 for Windows 95

View spreadsheet using Lotus 123 for Windows NT

6. 「開始 (Start)」をクリックする。

Lotus 1-2-3 またはペイントが開始され、2000年度のCelDialの広告費を示すスプレッドシートがオープンします。

この年度の予算の大半が、ラジオとテレビ・コマーシャルに投入されていることが分かります。この戦略により好利益を得ることができました。この利益を2001年度のキャンペーンに利用したいとお考えになることでしょう。

検索の一般的なヒント:

- 上記の検索では、探していた情報を見付けることができましたので、「検索の定義 (Define Search)」ウィンドウで指定した検索基準を保管したいかもしれませんが、検索の保管方法については、『検索定義の保管方法』を参照してください。
- 「大小文字の無視 (Ignore case)」チェック・ボックスがチェックされていない場合、情報カタログ・マネージャーは、入力したとおりの値を検索します。データベースが大文字小文字を区別できない場合は、この機能は利用できません。データベース管理者に問い合わせ、データベースが大文字小文字の区別をサポートしているかどうかを確認してください。
- 検索基準に多くを指定すれば、検索結果はより正確になります。検索条件を絞るには、見付けたい特定の値を指定して、検索します。より一般的な検索をしたい場合は、ワイルドカード文字を使用します。

検索定義の保管方法

検索が完了すると、探し出されたオブジェクトが「検索結果 (Search Results)」ウィンドウに表示されます。今後、情報を素早く探さなければならない場合に備えて、この検索条件を保管したい場合があります。保管した検索条件をオープンするたびに、検索が再度実行されます。したがって、検索結果は、常に最新のものになります。

検索基準を保管するには、以下のようにします。

1. 「検索結果 (Search Results)」ウィンドウから、「**検索結果 (Search results)**」 → 「**検索定義の別名保管 (Save search definition as)**」の順にクリックしていく。「検索の保管 (Save Search)」ウィンドウがオープンします。
2. 「**検索名 (Search name)**」フィールドに検索名を入力する。

このシナリオの場合、「2000 年度広告宣伝費 (Ad expenses 2000)」と入力します。保管した検索については、デフォルトのアイコンを使用します。

3. 「**保管 (Save)**」をクリックする。保管した検索定義のアイコンが、「カタログ (Catalog)」ウィンドウ内に表示されます。

売上高の上昇を見れば、キャンペーンがうまくいっていることが分かります。2001 年度の広告キャンペーン・マネージャーとしてのあなたの次の目標は、この成功したキャンペーンをどのように新しくするか、または強化するかを決定することです。あなたは、このキャンペーンは初めてなので、まず最初に、CelDial の 2000 年度のキャンペーンの責任者と会ってみるのも良い方法かもしれません。

その責任者を見つける方法については、『情報所有者の検索方法』を参照してください。

情報所有者の検索方法

情報カタログ内のオブジェクトには、ユーザーの組織内の情報が記述されています。その情報の責任者に連絡を取りたい場合は、情報カタログ内のその人物の電話番号や e-mail アドレスなどの項目を検索します。情報に責任のある人物や部門を示すオブジェクトを、連絡先といいます。

第 1 段階として、成功に終わった CelDial の 2000 年度のマーケティング・キャンペーンの連絡先を見つけてください。そうすれば、2001 年度のキャンペーンを同様に成功させるためには、何が必要かが見えてきます。

『情報カタログの検索方法』トピックでは、広告費に関連するオブジェクトを探し出し、これを検索名、「**CelDial 2000 年度広告宣伝費 (CelDial Ad Expenses 2000)**」で保管しました。広告費の情報の責任者が広告キャンペーンの連絡先である可能性は、高いと考えられます。これを調べるには、以下のステップを実行してください。

1. 「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウから「**CelDial 2000 年度広告宣伝費 (CelDial Ad Expenses 2000)**」オブジェクトをダブルクリックする。「検索結果 (Search Results)」ウィンドウがオープンし、「**CelDial 2000 年度広告宣伝費 (CelDial Advertisement Expenses for 2000)**」のスプレッドシート・オブジェクトが表示されます。
2. このオブジェクトを右クリックする。このオブジェクトのポップアップ・メニューがオープンします。

3. 「連絡先 (Contacts)」を選択する。「連絡先 (Contacts)」ウィンドウがオープンし、連絡先名、 **Jinhie Lee** が表示されます。連絡先、 **Jinhie Lee** について詳しい情報を得るには、以下のようにします。
 - a. 連絡先オブジェクトをダブルクリックする。記述ビューがオープンします。
 - b. 「プロパティ / 値 (Properties/Values)」リストから、「連絡先の責任 (Contact's responsibility)」をクリックする。このプロパティの値から、 **Jinhie Lee** が **CelDial** のマーケティングと広告キャンペーンのマネージャー (**CelDial Marketing and Advertising Campaign Manager**) であることが分かります。これが、あなたが相談すべき人物です。

連絡先を見つける上でのヒント: 任意の「選択 (Selected)」メニューから「連絡先 (Contacts)」を選択しても、連絡先を見付けることができます。

検索した情報の印刷方法

選択した情報カタログ・マネージャー・ウィンドウに表示されている情報を印刷することができます。前のレッスンで見つけた連絡先に関する情報を印刷するには、以下のようにします。

1. 「検索結果 (Search Results)」ウィンドウ内の連絡先、 **Jinhie Lee** をダブルクリックし、記述ビューをオープンする (まだ行っていない場合)。
2. 「オブジェクト (Object)」 → 「オブジェクト (Object)」 → 「印刷 (Print)」をクリックする。「印刷 (Print)」ウィンドウがオープンし、デフォルトのワークステーション・プリンターが「印刷 (Printer)」フィールドに表示されます。プリンターが使用可能で、印刷設定オプションが希望どおりに定義されていることを確認してください。
3. 「印刷 (Print)」をクリックします。 **Jinhie Lee** の記述ビューの情報が印刷されます。

2000 年度の CelDial キャンペーンに関して、各種の情報を検索し検討してきました。これを、1 つのグループにまとめてみてはいかがでしょうか。見つかったすべてのオブジェクトを編成する方法については、21ページの『集合の作成方法』を参照してください。

第4章 情報カタログ内の情報の収集方法

さまざまなオブジェクトをグループ化する集合を作成すれば、これらのオブジェクトへのアクセスが簡単になります。

11ページの『第3章 情報の探し方』では、将来のマーケティング・キャンペーンを計画する際に役立つ、CelDial の売上および費用の情報を示すさまざまなオブジェクトを検索しました。今後の参考のために、これらの情報を簡単に利用できるようにしたいかもしれません。集合は、「カタログ (Catalog)」ウィンドウ内にアイコンで表示されます。

集合の作成方法

「サブジェクト (Subjects)」、「リンク先 (Linked With)」、および「検索結果 (Search Results)」の各ウィンドウ内に、検索したすべてのオブジェクトの集合を作成するには、以下のようにします。

1. 「カタログ (Catalog)」ウィンドウ内のメニュー・バーから、「**カタログ (Catalog)**」→「**集合の作成 (Create Collection)**」を選択する。「集合の作成 (Create Collection)」ウィンドウがオープンします。
2. 集合名を、「**集合名 (Collection name)**」フィールドに入力する。このシナリオでは、「CelDial 2000 年度の販売と広告情報 (CelDial Sales and Ad Info 2000)」と入力します。集合を示すアイコンは、デフォルトのものを使用します。
3. 「**作成 (Create)**」をクリックする。

情報カタログ・マネージャー は、「**CelDial 2000 年度の販売と広告情報 (CelDial Sales and Ad Info 2000)**」という集合を作成しますが、この新しい集合の中身は空です。次に、集合にオブジェクトを配置する方法を学習します。

集合にオブジェクトを配置する方法

検索したオブジェクトを、新しい集合にコピーすることができます。「検索結果 (Search Results)」ウィンドウに表示された広告費用の情報を追加するには、以下のようにします。

1. 「検索結果 (Search Results)」ウィンドウに表示された「**CelDial 2000 年度 広告宣伝費 (CelDial Advertisement Expenses for 2000)**」オブジェクトを右クリックする。このオブジェクトのポップアップ・メニューがオープンします。
2. 「**集合にコピー (Copy to collection)**」をクリックする。「集合にコピー (Copy to collection)」ウィンドウがオープンします。
3. 集合が、「**CelDial 2000 年度の販売と広告情報 (CelDial Sales and Ad Info 2000)**」しかない場合は、このオブジェクトが選択されます。そうでない場合は、「**集合の選択 (Select a collection)**」リストからこれを選択します。
4. 「**コピー (Copy)**」をクリックする。「**CelDial 2000 年度広告宣伝費 (CelDial Advertisement Expenses for 2000)**」オブジェクトが、「**CelDial 販売と広告情報 (CelDial Sales and Ad Info)**」にコピーされます。

以下のオブジェクトについても、このコピー処理を繰り返します。

- 「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」 ツリー・ビューに表示される、すべての「**CelDial 売上スプレッドシート (CelDial Sales Spreadsheet)**」オブジェクト。
- 「**CelDial 売上情報 (CelDial Sales Information)**」 / 「**リンク先 (Linked With)**」ウィンドウ内に表示される、CelDial の広告情報を示すオブジェクトのすべて。
- 「**CelDial 2000 年度広告宣伝費 (CelDial Advertisement Expenses for 2000)**」 / 「**連絡先 (Contacts)**」ウィンドウ内に表示される連絡先オブジェクト、**Jinhie Lee**。

新しい集合を表示するには、「**情報カタログ (Information Catalog)**」ウィンドウ内にある、「**CelDial 2000 年度の販売と広告情報 (CelDial Sales and Ad Info 2000)**」集合オブジェクトのアイコンをダブルクリックします。集合がオープンしコピーしたオブジェクトが表示されます。

集合間でコピーする際の注意

集合にオブジェクトを追加するときは、以下のウィンドウからオブジェクトをコピーしてください。

- 検索結果 (Search Results)
- サブジェクト (Subjects)
- リンク先 (Linked With)
- 被検索値 (Found In)

- アタッチメント (Attachments)
- 連絡先 (Contacts)
- その他の集合ウィンドウ

集合内のオブジェクトを削除するには、以下のようにします。

1. 「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウ内の「**CelDial 2000 年度の販売と広告情報 (CelDial Sales and Ad Info 2000)**」アイコンをダブルクリックする。
2. 集合から削除したいオブジェクトを選択する。
3. 「情報カタログ (Information Catalog)」ウィンドウ・メニュー・バーから、「**選択 (Selected)**」→「**集合から削除 (Delete from collection)**」をクリックするか、右クリックしてオブジェクトのポップアップ・メニューを表示し、「**集合から削除 (Delete from collection)**」をクリックする。
4. 集合からこのオブジェクトを削除したい場合は、「**削除 (Delete)**」をクリックする。

CelDial シナリオの完了

これで完了です! あなたは、情報カタログ・マネージャーを使用して、情報の場所を正しく突き止め、これを有用な集合にまとめることができました。また、力の入れられた宣伝について知ることができ、次の 2001 年度のキャンペーンを成功させる戦略を立てるために、調査すべき人物が分かりました。

本書のシナリオは、これで終了です。

第5章 情報カタログ・マネージャー ユーザーの追加タスク

この章では、情報カタログ・マネージャー・ユーザーが行うことのできる追加タスクについて説明します。

オブジェクトの管理

情報カタログ・マネージャー管理者の中には、ユーザーに情報カタログ内のオブジェクトをもっと自由に操作してもらい、管理者にあまり依存しないでほしい、と考える人もいます。

管理者は、以下のタスクを実行する許可を特定のユーザーに与えることができます。

- オブジェクトの作成
- オブジェクトの削除
- オブジェクトの更新
- オブジェクトのコピー
- オブジェクトのエクスポート
- 連絡先の関連付け
- オブジェクト間のリンクの更新
- オブジェクト・グループの更新
- プログラムとオブジェクトの関連付け

ユーザーが管理者から特別の許可を与えられた場合は、情報カタログ・マネージャーのオンライン・ヘルプを参照して、詳細なタスク情報を確認してください。ICMSAMP 情報カタログを使用して、上記タスクのいくつかを試してみることができます。

情報カタログ・マネージャー・セッションのカスタマイズ方法

このセクションでは、情報カタログ・マネージャー・セッションをカスタマイズする方法について説明します。

情報カタログ・マネージャー・セッションは、デフォルトで以下のように設定されています。

- システムが生成したプロパティ値は、情報カタログ・マネージャーの各種ウィンドウに表示せず、隠ぺいする。
- 記述ビュー内に、「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウを除くすべての情報カタログ・マネージャー・ウィンドウをオープンする。
- 情報カタログ・マネージャーのクローズ時には、確認メッセージ・ボックスを表示する。
- 情報カタログ内の検索時に ? および * をワイルドカード文字として使用する。
- 「検索の定義 (Define Search)」ウィンドウを使用したときは、値のテキスト内のすべての場所で、指定した値を含むオブジェクトを検索する。

マウスまたはキーボードのデフォルト・アクションの変更方法

情報カタログ・マネージャー がオブジェクト上で実行するデフォルト・アクションを表示して、変更することができます。オブジェクトをダブルクリックするするか、またはオブジェクトを選択して **Enter** を押したときに実行されるデフォルト・アクションを変更するには、以下のようになります。

1. 「カタログ (Catalog)」ウィンドウ内で、「**カタログ (Catalog)**」 → 「**設定をオープン (Open as settings)**」をクリックする。
「情報カタログ・マネージャー設定 (Information Catalog Manager Settings)」ノートブックがオープンします。
2. 「**デフォルト・アクション (Default actions)**」ノートブック・タブをクリックする。
3. 「**デフォルト・アクションの選択 (Select default action)**」の隣にある下向きの矢印をクリックする。これにより、オブジェクトをダブルクリックするか、または選択して **Enter** を押したときに実行されるアクションのリストが表示されます。

オブジェクトは、ツリー・ビュー、または記述ビュー内でオープンすることができますが、オブジェクトをダブルクリックしてプログラムを開始することもできます。

アクションを変更していない場合、デフォルト・アクションでは、記述ビュー内でオブジェクトがオープンします。このアクションは、「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウを除くウィンドウ内のオブジェクトに適用されます。

4. 「**デフォルト・アクションをサブジェクト・ウィンドウに適用 (Apply the default actions to the Subjects window)**」チェック・ボックスを選択し、指定したデフォルトのアクションを「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウにも適用する。

オープンする各オブジェクト・ウィンドウでの表示の一貫性を保つために、これを行ってください。このチェック・ボックスを選択しないと、「サブジェクト (Subjects)」ウィンドウ内のオブジェクトは、常にデフォルトのツリー・ビュー内でオープンします。

このノートブック・ページを使用して、情報カタログ・マネージャーのクローズ時に確認メッセージが表示されないように設定することもできます。

情報カタログ・マネージャー・プロパティー値の隠し方法

情報カタログ・マネージャーが生成したオブジェクトのプロパティー値を、表示するかどうかを指定することができます。デフォルトの設定では、以下のプロパティー値は隠されます。

- オブジェクト・タイプ識別子
- インスタンス識別子
- 最終変更の日時
- 最終変更者

これらの値は、以下のウィンドウ内に隠べいされます。

- 検索の定義 (Define Search)
- 記述ビュー (Description View)
- プログラムの追加 (Add Program)

プロパティー値を表示するには、以下のようになります。

1. 「情報カタログ (情報カタログ)」ウィンドウ内で、「**カタログ (Catalog)**」→「**設定をオープン (Open as settings)**」をクリックする。
「情報カタログ・マネージャー設定 (Information Catalog Manager Settings)」ノートブックがオープンします。
2. 「**プロパティー (Properties)**」タブをクリックします。
3. 「**システム生成プロパティーの隠し (Hide system generated properties)**」チェック・ボックスのチェックを解除する。

検索ワイルドカードの変更

オブジェクトを検索する際に情報カタログ・マネージャーが使用する、デフォルトのワイルドカード文字および検索オプションを変更することができます。

ワイルドカード文字を変更するには、以下のようになります。

1. 「情報カタログ (情報カタログ)」ウィンドウ内で、「**カタログ (Catalog)**」→「**設定をオープン (Open as settings)**」をクリックする。

「情報カタログ・マネージャー設定 (Information Catalog Manager Settings)」ノートブックがオープンします。

2. 「**検索 (Search)**」タブをクリックする。
3. 「**ワイルドカード文字の指定 (Specify wildcard characters)**」リストから、検索に使用するデフォルトのワイルドカード設定を選択する。
4. 「**デフォルト検索オプションの指定 (Specify default search option)**」ラジオ・ボタンのグループから、適切なラジオ・ボタンをクリックする。オブジェクトの検索時に使用される検索オプションが指定されます。

デフォルトのワイルドカード文字の他にも、情報カタログ・マネージャーは、_ (下線) と % (パーセント) をワイルドカードとして扱います。これは、DB2 データベースがこれらの文字をワイルドカードとして使用しているからです。
_ および % をワイルドカードとして使用しない ようにするには、「検索の定義 (Define Search)」ウィンドウ内の「**完全に一致 (Matching exactly)**」をクリックします。この設定は、「設定 (Settings)」ノートブックの「**検索 (Search)**」ページでも指定することができます。

付録A. サンプル情報カタログのオブジェクト・タイプ

以下に示すリストは、本書のシナリオで使用される ICMSAMP サンプル情報カタログの内容です。各オブジェクト・タイプ名の下のテキストでは、そのオブジェクト・タイプの簡単な説明が示されます。



アプリケーション・データ (Application data)

このオブジェクト・タイプは、いくつかの MDIS メタデータ交換を行うために内部的に使用されます。このオブジェクト・タイプのオブジェクトは情報カタログ内に表示されることがありますが、オブジェクト作成のためにこのオブジェクト・タイプを使用しないでください。



オーディオ・クリップ (Audio clips)

このオブジェクト・タイプは、音声情報を含むファイルを表します。これらのオブジェクトは、電子的な音声情報 (AUD ファイル)、または物理的な音声情報 (CD、テープなど) などを表します。



ビジネス・サブジェクト・エリア (Business subject areas)

このオブジェクト・タイプは、オブジェクトの論理的なグループを表します。



図表 (Charts)

このオブジェクト・タイプは、印刷された図表、または電子的な図表を表します。



列またはフィールド (Columns or fields)

このオブジェクト・タイプは、関係テーブル内の列、ファイル内のフィールド、または IMS セグメント内のフィールドを表します。



コメント (Comments)

このオブジェクト・タイプが作成されるのは、情報カタログを作成し、これを情報カタログ内の他のオブジェクトにコメントを付けるために使用したときです。



データベース (Databases)

このオブジェクト・タイプは、関係データベースを表します。



多次元データベース内のディメンション (Dimensions within a multi-dimensional database)

このオブジェクト・タイプは、多次元データベース内のディメンションを表します。ディメンションは、メンバーから構成されます。



文書 (Documents)

このオブジェクト・タイプは、書籍、マニュアル、技術論文を表します。これらの出版物は、印刷物、または電子的な形態を取り、ローカル、またはライブラリーで見つけることができます。



DWC プロセス (DWC process)

このオブジェクト・タイプは、データウェアハウスセンター内の、ソース・データに対して通常行われるプロセスを表しています。この処理では、データが元の形式から、意思決定に役立つ形式に変更されます。データウェアハウスセンターでは、プロセスは通常、1 つまたは複数のソース、1 つまたは複数のステップ、および 1 つまたは複数のターゲットから成り立っています。



エレメント (Elements)

このオブジェクト・タイプは、「列またはフィールド (Columns or fields)」オブジェクト・タイプに直接マップしない MDIS エレメント・オブジェクトを表します。



ファイル (Files)

このオブジェクト・タイプは、ファイル・システム内のファイルを表します。



用語集見出し (Glossary entries)

このオブジェクト・タイプは、情報カタログで使用される用語の定義を表します。



イメージまたはグラフィックス (Images or graphics)

このオブジェクト・タイプは、ビットマップなどのグラフィック・イメージを表します。



IMS データベース定義 (DBD) (IMS database definitions (DBD))

このオブジェクト・タイプは、IMS データベース定義を表します。



IMS プログラム制御ブロック (PCB) (IMS program control blocks (PCB))

このオブジェクト・タイプは、IMS プログラム制御ブロックを表します。



IMS プログラム仕様ブロック (PSB) (IMS program specification blocks (PSB))

このオブジェクト・タイプは、IMS プログラム仕様ブロックを表します。



IMS セグメント (IMS segments)

このオブジェクト・タイプは、IMS セグメントを表します。



情報カタログ・ニュース (Information Catalog news)

このオブジェクト・タイプは、エンド・ユーザーに情報カタログの変更についての情報を伝えます。



インターネット文書 (Internet documents)

このオブジェクト・タイプは、重要である可能性のある Web サイト、およびインターネット上の他の文書を表します。



Lotus Approach queries

このオブジェクト・タイプは、ユーザーの組織のデータに使用する利用可能な Lotus Approach queries を表します。



多次元データベース内のメンバー (Members within a multi-dimensional database)

このオブジェクト・タイプは、多次元データベース内のメンバーを表します。メンバーはディメンションの一部であり、ディメンションは多次元データベースの一部です。



多次元データベース (Multi-dimensional databases)

このオブジェクト・タイプは、多次元データベースを表します。



オンライン・ニュース・サービス (Online news services)

このオブジェクト・タイプは、オンラインでアクセスできるニュースおよび情報サービスを表します。



オンライン資料 (Online publications)

このオブジェクト・タイプは、オンライン・サービスからアクセスできる資料およびその他の文書を表します。



連絡先 (People to contact)

このオブジェクト・タイプは、情報カタログ内の単一のまたは複数のオブジェクトに責任のある、人物またはグループを識別します。



表示 (Presentations)

このオブジェクト・タイプは、印刷されたまたは電子的な種々の表示を表します。これらの表示には、プロダクト、顧客、品質および状況の各表示が含まれます。



情報カタログ・オブジェクトから開始できるプログラム (Programs that can be started from information catalog objects)

このオブジェクト・タイプは、情報カタログが作られたときに作成されます。このオブジェクト・タイプは、特定のオブジェクト・タイプを処理できるアプリケーションを定義する際に使用します。サンプルの情報カタログ、ICMSAMP では、このオブジェクト・タイプを「情報カタログ・オブジェクトから起動できるプログラム (Programs that can be invoked from information catalog objects)」と呼んでいます。



レコード (Records)

このオブジェクト・タイプは、「ファイル (Files)」または「関係テーブルまたはビュー (Relational tables or views)」の各オブジェクト・タイプに直接マップしない MDIS レコード・オブジェクトを表します。レコードは、エレメントから構成されます。



関係テーブルまたはビュー (Relational tables or views)

このオブジェクト・タイプは、関係データベースのテーブルまたはビューを表します。



スプレッドシート (Spreadsheets)

このオブジェクト・タイプは、デスクトップ・スプレッドシートを表します (たとえば、Lotus 1-2-3 または Microsoft Excel スプレッドシートなど)。



スター・スキーマ (Star schema)

このオブジェクト・タイプは、関係データを表します。スター・スキーマには、ファクト・テーブルおよび 1 つまたは複数のディメンション・テーブルが含まれています。



サブスキーマ (Subschemas)

このオブジェクト・タイプは、データベース内のレコードの論理的なグループを表します。



テキスト・ベース報告書 (Text-based reports)

このオブジェクト・タイプは、印刷されたまたは電子的な報告書を表します。



変換 (Transformations)

このオブジェクト・タイプは、ターゲット関係データベース内の列デー

タを移植するのに使用する式、または論理を表します。変換オブジェクトは、ソースの操作可能なデータをターゲットの列に変換するために使用する式、またはソース・フィールドからターゲット列への 1 対 1 のマッピングを表します。



ビデオ・クリップ (Video clips)

このオブジェクト・タイプは、ビデオ情報を含むファイルを表します。これらのオブジェクトは、電子的なビデオ情報 (AVI ファイル)、または物理的なビデオ情報 (ビデオ・テープ、レーザー・ディスクなど) を表します。

付録B. 特記事項

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む)、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
AP 事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

本書に含まれる情報には、技術的に不正確なもの、または誤植が含まれる場合があります。これらに対する変更は、定期的に行われます。これらの変更は、資料の改訂版に含まれます。IBM は、本書で説明している製品、プログラムに対して、予告なく改良、変更を加える場合があります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するもので

はありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様になんら義務も負わせない適切な方法で、使用もしくは配布することがあります。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Canada Limited
Office of the Lab Director
1150 Eglinton Ave. East
North York, Ontario
M3C 1H7
CANADA

本プログラムに関する上記の情報は、適切な条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンス・データは、制御された環境下で決定されています。したがって、その他の稼働環境で得られる結果とは、かなり異なる可能性もあります。一部の測定値は、開発中のシステムを使用している場合があり、これらの測定値が一般的に提供可能なシステムで同様の数値になることを保証するものではありません。さらに、一部の測定値が推定されたものもあります。実測値と異なる場合があります。本書のユーザーは、使用される特定の環境での該当データを確認してください。

IBM 以外の製品については、当該製品の提供者から直接、出版されている資料または一般公開されている情報から入手しました。IBM は、これらの製品についてはテストを行っておらず、これらの IBM 以外の製品に関する性能、互換性またはその他の主張について確認することはできません。IBM 以外の製品の機能に対する質問は、それぞれの製品提供者にお問い合わせください。

IBM の将来の方向性または意図については、予告なしに変更または中止する場合があります。IBM の目的および目標のみを示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれていますが、これは説明に具体性を与えるために記載されたものであり、それらの例には、個人、企業、ブランドの、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。それらの名前はすべて架空のものであり、また名称や住所が類似する企業が実在しても、それは偶然に過ぎません。

著作権：

本書に含まれる情報には、サンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語の形式で含まれており、様々な、オペレーティング・プラットフォームでのプログラミング技法を示しています。お客様は、これらのサンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームでアプリケーション・プログラミング・インターフェースが実行可能となるためのアプリケーション・プログラムを開発、使用、販売または配布もしくは転送する目的のためだけに、サンプル・プログラムを、IBM に対する別途料金を支払うことなく、複製、変更、配布または転送することができます。これらのサンプルは、すべての条件下で十分にテストを行っていません。したがって、IBM は、これらのプログラムの信頼性、実用性または機能について、いかなる保証も負いません。

サンプル・プログラムまたはその改変版の複製物には、全部複製か部分複製かを問わず、次の著作権表示を必ず行うものとします。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. _年_. All rights reserved.

商標

本書中でアスタリスク (*) を付けて表記されている次のものは、 IBM Corporation の商標です。

ACF/VTAM	IBM
AISPO	IMS
AIX	IMS/ESA
AIX/6000	LAN DistanceMVS
AIXwindows	MVS/ESA
AnyNet	MVS/XA
APPN	Net.Data
AS/400	OS/2
BookManager	OS/390
CICS	OS/400
C Set++	PowerPC
C/370	QBIC
DATABASE 2	QMF
DataHub	RACF
DataJoiner	RISC System/6000
DataPropagator	RS/6000
DataRefresher	S/370
DB2	SP
DB2 Connect	SQL/DS
DB2 Extenders	SQL/400
DB2 OLAP Server	System/370
DB2 Universal Database	System/390
Distributed Relational Database Architecture	SystemView
DRDA	VisualAge
eNetwork	VM/ESA
Extended Services	VSE/ESA
FFST	VTAM
First Failure Support Technology	WebExplorer
	WIN-OS/2

次のものは、他社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java、Java に関連するすべての商標およびロゴ、および Solaris は、米国ならびに他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Tivoli および NetView は、米国ならびに他の国における Tivoli Systems Inc. の商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

付録C. IBM と連絡をとる

技術上の問題がある場合は、時間をとって「問題判別の手引き」に定義されている処置を検討し、それらの提案を実行した後で、DB2 顧客サービスに連絡をとってください。この資料には、DB2 顧客サービスがお客さまを支援するために必要とする情報が説明されています。

製品情報

以下の情報は英語で提供されます。内容は英語版製品に関する情報です。

<http://www.ibm.com/software/data/>

DB2 World Wide Web ページには、ニュース、製品説明、研修スケジュールなどの DB2 に関する最新情報が提供されています。ただし提供されている情報は英語です。

<http://www.ibm.com/software/data/db2/library/>

「DB2 Product and Service Technical Library」では、よくされる質問 (FAQ)、修正内容、資料、および最新の DB2 技術情報などの情報へのアクセスが提供されています。

注: この情報のご提供は英語のみとなりますのでご注意ください。

<http://www.elink.ibm.com/pbl/pbl/>

「International Publications」注文用 Web サイトでは、マニュアルの注文方法についての情報を提供しています。ただし、提供されている情報は英語です。

<http://www.ibm.com/education/certify/>

IBM の「Professional Certification Program」Web サイトでは、DB2 を含むさまざまな IBM 製品の認証テストの情報を提供しています。ただし、提供されている情報は英語です。

<ftp.software.ibm.com>

匿名でログオンしてください。ディレクトリー /ps/products/db2 には、DB2 および多数の他製品に関連したデモ、修正プログラム、情報、およびツールがあります。ただし、提供されている情報は英語です。

comp.databases.ibm-db2, bit.listserv.db2-l

これらのインターネット・ニュースグループは、ユーザーが DB2 製品に関する自分の経験について話し合うために利用できます。ただし、提供されている情報は英語です。

Compuserve: GO IBMDB2

このコマンドを入力すると、IBM DB2 Family forum にアクセスできます。すべての DB2 製品が、このフォーラムでサポートされています。ただし、提供されている情報は英語です。

米国以外の国で IBM に連絡する方法については、*IBM Software Support Handbook* の Appendix A を参照してください。この資料にアクセスするには、Web ページ: <http://www.ibm.com/support/> にアクセスし、ページの最下部にある「IBM Software Support Handbook」リンク・ボタンを選択します。

注: 国によっては、IBM が承認している販売業者が、IBM サポート・センターの代わりにそれら販売業者のサポート・センターに連絡する場合があります。

用語集

Attachment. 別の情報カタログ・オブジェクトに追加の情報を付加するために使用する、オブジェクト・タイプの区分。たとえば、オブジェクトにコメントを付加することができる。

区分 (category). 情報カタログ・オブジェクト・タイプの種別。区分は、使用できるアクションを、オブジェクト・タイプおよびオブジェクト・タイプ間 (同じまたは異なる区分内の) で許可された関係に指定する。

オブジェクト・タイプは、次のいずれかの区分に属する。

- Attachment
- Contact
- Dictionary
- Elemental
- Grouping
- Program
- Support

集合 (collection). オブジェクトのコンテナ。集合は、重要なオブジェクトを集めて、アクセスを簡単にするために使用する。

コメント (Comments). 情報カタログ内の他のオブジェクトに注釈を付けるオブジェクトの種別。たとえば、図表データについてのメモを含む図表オブジェクトに、コメント・オブジェクトを付加したい場合がある。

contact. オブジェクトについてのさらに詳しい情報の参照。詳しい情報の中には、オブジェクトが示す情報を作成した人物や、情報保守の責任を持つ部門が記述されている可能性がある。

Dictionary. 用語を定義するのに使用するオブジェクト・タイプの区分 (たとえば、サンプル情報

カタログ内の「用語集見出し (Glossary entries)」オブジェクト・タイプ)。

Elemental. 他のオブジェクト・タイプの基本要素である非グループ・オブジェクト・タイプの区分。エレメント・オブジェクト・タイプは、オブジェクト・タイプ階層の下部に位置する。「関係テーブルの列 (Columns in relational tables)」、「表示 {電子形態および印刷} (Presentations {electronic and printed})」、および「グラフィックスおよびイメージ (Graphics and Images)」は、すべて、エレメント・オブジェクト・タイプの例である。

Grouping. 他のオブジェクト・タイプを含むことのできる、オブジェクト・タイプの区分。サンプルの情報カタログ内で利用できるグループ・オブジェクト・タイプの例には、「関係データベースのテーブルまたはビュー (Tables or views in a relational database)」（エレメント・オブジェクト・タイプの「関係テーブルの列 (Columns in relational tables)」を含む) や、「多次元モデル (Multi-dimensional model)」（他のグループ・オブジェクト・タイプの「ディメンション (Dimension)」を含む) などがある。

情報カタログ (information catalog). 組織内で利用できるデータおよび情報を識別し、その位置を特定するのに役立つ記述データを含む、情報カタログ・マネージャーが管理するデータベース。

情報カタログ・マネージャー管理者 (Information Catalog Manager administrator). 情報カタログの内容や使用法を管理する責任者。

情報カタログ・マネージャー・ユーザー (Information Catalog Manager user). 情報カタログ内で利用できる情報にアクセスする人物。

リンク関係 (linked relationship). 情報カタログ内のオブジェクト相互間の関係。リンク関係のオブジェクトは対等であり、一方のオブジェクトが他方の基本オブジェクトになっているのではない。

複数文字ワイルドカード (multiple character wildcard). 任意の長さの一続きの文字を表す文字。デフォルトでは、アスタリスク (*) が複数文字ワイルドカード。ワイルドカード (*wildcard*) および単一文字ワイルドカード (*single character wildcard*) も参照。

オブジェクト (object). 情報の単位、または別個のグループを表す項目。情報カタログ・オブジェクトは情報を識別し記述するが、実際の情報は含まない。たとえば、オブジェクトはレポートの名前を提供し、その作成日をリストし、そして、その目的を記述する。

オブジェクト・タイプ (object type). オブジェクトの種別。オブジェクト・タイプは、テーブル、レポート、イメージなどのビジネス情報の種類を示すために使用される。

オブジェクト・タイプ、およびそれを示すアイコンのリストを表示するには、任意のメニュー・バーから、「ヘルプ (Help)」->「オブジェクト・タイプの凡例 (Object type legend)」を選択する。

Program. プログラム・オブジェクト・タイプの区分。プログラム・オブジェクト・タイプは、情報カタログ オブジェクトが記述する実際の情報を処理できるアプリケーションを、識別、記述するオブジェクトの種別。

プロパティ (property). 特徴、または情報の単位を記述する属性。各オブジェクト・タイプは、関連するプロパティのセットを持つ。たとえば、サンプルの情報カタログにある「グラフィックスおよびイメージ (Graphics and Images)」オブジェクト・タイプには、以下のプロパティが含まれている。

- 名前 (Name)

- 記述 (Description)
- イメージ・タイプ (Image type)
- イメージ・ファイル名 (Image filename)

各オブジェクトに対して、値のセットがプロパティに割り当てられている。

単一文字ワイルドカード (single character wildcard). 任意の 1 文字を表す文字。デフォルトでは、疑問符 (?) が単一文字ワイルドカード。ワイルドカード (*wildcard*) および複数文字ワイルドカード (*multiple character wildcard*) も参照。

Support. 情報カタログまたは企業についての追加の情報を提供する、オブジェクト・タイプの区分 (たとえば、サンプルの情報カタログ内の「情報カタログ・マネージャー・ニュース (Information Catalog Manager News)」オブジェクト・タイプ)。

ツリー・ビュー (Tree view). あるオブジェクトとそれに含まれるオブジェクトを階層的に表示するビュー。

ワイルドカード (wildcard). 検索でプロパティ値を指定する際に変数として使用する特殊文字。単一文字ワイルドカード (*single character wildcard*) および複数文字ワイルドカード (*multiple character wildcard*) も参照。

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アイコン

- サブジェクト (Subjects) 9
- 新規検索 (New search) 9
- ニュース (News) 9
- 用語集見出し (Glossary entries) 9

印刷方法 20

オープン方法、情報カタログの 8
オブジェクト

- グループ 11
- 集合にコピーする 21

オブジェクト、定義 46

オブジェクト・タイプ、定義 46

[カ行]

開始方法、プログラムの 13

カタログ情報 1

管理および保守、情報カタログ・マネージャーの 2

管理者のタスク 2

区分、定義 45

グループ・オブジェクト 21

検索

- 基準 16
- 結果 21
- 定義 18

検索、情報の 16

検索、連絡先の人物の 19

コピー方法、集合への 21

コメント、定義 45

[サ行]

サーバー・ノードおよびリモート情報カタログの登録 5

削除、集合のオブジェクトの 23

作成方法、集合の 21

「サブジェクト (Subjects)」アイコン 9

集合、定義 45

使用、情報カタログ・マネージャーの 2

紹介 1

情報、カタログの 1

情報カタログ、定義 45

情報カタログ・マネージャー管理者 2

情報カタログ・マネージャー管理者、定義 45

情報カタログ・マネージャーの開始 8

情報カタログ・マネージャー・ユーザー、定義 45

情報所有者 19

情報の探し方 11

「新規検索 (New search)」アイコン 9

[タ行]

ツリー・ビュー、定義 46

[ナ行]

ニュース (News) 9

[ハ行]

配置する方法、集合にオブジェクトを 21

表示方法、検索結果の 16

ブラウズ方法、サブジェクトの 11

プロパティ、定義 46

保管方法、検索結果の 21

保管方法、検索定義の 18

[ヤ行]

役割、情報カタログ・マネージャー管理者の 2

ユーザー ID 8

用語集見出し (Glossary entries) 9

[ラ行]

リンク関係、定義 46

連絡先、検索 19

[ワ行]

ワイルドカード、定義 46

A

Attachment、定義 45

C

contact、定義 45

D

Dictionary、定義 45

E

Elemental、定義 45

G

Grouping、定義 45

P

Program、定義 46

S

Support、定義 46



Printed in Japan

SC88-8548-00



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12